

「私たちが進み続ける理由」ニュース

2008.11.03

11月の本番に向けて、各地で練習が進んでおります。

10月24日、作曲の池辺晋一郎先生のご指導による練習会と録音が行われました。

合唱登録はまだ438名。1000人を目指す登録もこの連休中に大きく前進することでしょう。

また、記念音楽会では「五月の歌」の組曲がオープニングに変更になったので「私たちが進み続ける理由」が音楽会のフィナーレを飾ります。東京関東で池辺先生のレッスンを受けている方は是非記念音楽会でも歌ってください。登録もよろしくお願いいたします。

作曲した池辺先生から何度も指摘されていること

「長い詩ですが、全体構成が計算されており、曲を作る構図が出来上がっています。特に毎回くりかえされる『私たちは進む』は、その前にいろいろな言葉が使われているものの、『~のために』に集約されています。

最後に、「**ルルル・・・**」のあとに、

- ・すべての労働者のために
- ・すべての父親のために
- ・すべての母親のために
- ・すべての子どもたちのために

私たちは進む

を付け加えていますが、これは原詩にはない、オリジナルな部分で、作曲に入る前にこういう構成にしようとした」と、9月12日の練習会に説明されました。

また、この曲は変口長調(Bb)で作っています。イ長調(A)で作ることも考えましたが、Aでは明るく・鋭くなるので、この曲には、Bbが適切であると考えました、と調の設定について解説されました。

あたり前なことは淡々とうたう

「わたしたちは進む...」繰り返し出てくるこの歌詞を最後まで、絶叫型で歌わない、淡々とうたうということ。なぜなら、これはあたり前の、当然の権利だから。“あたりまえの権利”という事を強く主張することが、この曲の持つメッセージの最も大切な要素です。

この曲のメッセージを読み込んで祭典に向け仕上げたい。 (うたごえ新聞11/10号)



日本のうたごえ祭典 60周年記念音楽会・大音楽会のチケット普及もよろしく!

(歌い手も出演以外の舞台を鑑賞するにチケットが必要です)特に記念音楽会の指定席はお早めにどうぞ!

一人の歌い手が一人二人の聞き手を誘って

日比谷公会堂・有明コロシアムを満席にしましょう!



いよいよ祭典へ向けてのラストスパートです!

11/18の池辺先生のレッスンには100%の出席を目指しましょう

当日リハーサルについて (前のニュースから少し変更になっています)

11/23記念音楽会 (日比谷)

13:00 ~ 13:30 舞台でリハーサル

19:35 ~ 19:47 本番

(あくまでも目安です)

11/24大音楽会 (有明コロシウム)

10:10 ~ 10:40 舞台でリハーサル

10:40 ~ 11:30 第2会議室で練習

(共に生きる町 私たちが進み続ける理由)

14:50 ~ 15:05 本番

舞台衣装について

11/23記念音楽会 (日比谷)

男声 黒スーツ、黒蝶ネクタイ

女性 白長袖ブラウス、黒パンツ又は

黒スカート (ロングスカートでも可)

11/24大音楽会 (有明コロシウム)

共に生きる町「進み続ける...」のみを歌う
皆さんは

男声 黒スーツ、黒蝶ネクタイ

女性 白長袖ブラウス、ロングスカート

(ロング以外でも可)

そのほかの舞台 (人間のうたとか女声合唱等)

男声女声ともその舞台の衣装で歌ってください。

全国のみなさんへ

合唱登録は11/1現在、「共に生きる町」が434名。「私たちが進み続ける理由」が632名です。全国的にまだまだ増えるとは思いますが、やはり東京の状況が見えないために登録、練習の回数、進みがあまり良くないように聞こえてきます。

「共に生きる町」も「私たちが進み続ける理由」も1000名で歌うことが目標です。是非、合唱団、地域で練習会を持っていただき、一人でも多くの方の登録を急いでください。

スペースの関係で池辺先生の言葉が掲載できませんでしたが、この間の東京での3回のレッスンは回を重ねる度に充実し、その度に登録人数も増えています。池辺先生のこの曲に対する思いが深いのもよく分かります。是非うたごえHP、うた新なども活用して歌い手を増やしてください。

また、当日は舞台リハのあと、本番前に80分間のレッスンを設けています。なかなかレッスンできていない方もここで自信をもって歌うことが出来るでしょう。

「共に生きる町」も「私たちが進み続ける理由」も練習用CDを作成してありますので、必要な方は是非全国協、東う協に申し出てください。よろしくお願いたします。